

11月17日(土)開催



狭山市産の新鮮な野菜が所狭しと並びます

## 狭山市農業祭

農業祭は、狭山の農産物の収穫を祝うイベントで、地域で採れた農産物を求め、市内外から多くの方が来場します。また、今年は「狭山さといも料理グランプリ」も開催し、皆さんの投票でグランプリを決定します。ぜひ、お出掛けください。

日時11月17日(土)、9時～14時30分 場所市民会館、JAいるま野狭山支店 内容農産物の品評会と直売、狭山さといも料理グランプリ、学童農業体験の成果発表、ヒーローショーなど ※駐車台数に限りがあるため、市役所からの無料バスをご利用ください 問合せ農業振興課へ内線2533

# 狭山の“おいしい”再発見 狭山市産の野菜を食べよう



私は、結婚するまでは市外に住んでいました。野菜はスーパーでしか買ったことがなかったのですが、狭山市に嫁いで来て食べた里芋の、ねっとりとした食感と味の濃さや枝豆の甘さなどにびっくりしました。今では、そのおいしい野菜を皆さんにお出しすることができるよう



これからは、ほうれんそうの出荷作業が最盛期を迎えます

生産農家・横山美咲さん(堀兼)

新鮮でおいしい野菜をお召し上がりください

方に味わってもらいたいと、毎日直売所に行っています。私たちが農家は自然を相手にしています。雨や風の影響を受けることが多く大変ですが、手間をかけて作った野菜を皆さんに届けられる、やりがいのある仕事です。これからも皆さん喜んで食べてもらえるよう、安全でおいしい野菜作りを続けていきます。

店頭には、四季折々のさまざまな野菜が並びますが、毎朝、生産農家が直接売り場に並べ、品薄になり



児島善春店長(あぐれっしゅげんき村/堀兼2085-1、☎04-2957-0831)

生産者と消費者の食の架け橋

あぐれっしゅげんき村(堀兼)

まだ子どもが小さいので、主に自宅で作業しています。直売所に野菜を納品しに行った時にお会いする、お客さんとの会話を大切にしています。お客さんから「こんな料理を作りたいから、もう少し小さいサイズがほしい」などのリクエストも参考にになります。お客さんからいただく言葉を励みに「また食べたい」と言っていただけのような野菜を作っていました。

おいしい狭山の野菜

狭山市は、古くから里芋、ほうれんそうなど露地野菜の栽培が盛んです。そして、これらの野菜は、皆さんにおいしく食べていただけるよう、生産農家が丹精込めて育てています。今月は、狭山の野菜の魅力についてお知らせします。

手間をかけただけおいしく育つ

生産農家・小谷野義則さん(柏原)



まだ珍しい品種「茎ブロッコリー」も栽培しています

我が家は代々農家を営んでいます。6代目として私が就農して24年になり、両親と妻と一緒に旬の野菜を栽培しています。

栽培する野菜は、一年をとおすと30〜40種類になります。特に秋から冬にかけて、たくさん種類の野菜が収穫できるため、忙しくなります。今の季節、我が家では、にんじん、かぶ、ブロッコリー、春菊などが栽培の主なものですね。栽培に当たっては、特に土づくりにこだわり、牛糞やチップで作った有機肥料も使うようにしています。手塩にかけた野菜を多くの



狭山市の特産品「里芋」も並んでいます

と補充しています。

ここで扱う野菜は、採れたての新鮮なものばかりですから、市内はもちろん、市外や都内からも大勢のお客様が来てくださいます。

これから冬にかけては、狭山市の特産、里芋やほうれんそうなどの秋冬野菜が多く並びます。あぐれっしゅげんき村は、生産農家とお客様をつなぐ架け橋として、安全



豊富な新鮮野菜が並びます

でおいしい野菜をお届けしています。ぜひ、新鮮な狭山の野菜を美味しく召し上がってください。

問合せ農業振興課へ内線2533